

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

『ごみ減量と再生利用』に関する目標を見直し

令和3年度(基準年度)	
ごみ減量化の現状	ごみリサイクル化の現状
1人1日排出量	資源化率
1,104g [※]	15.9% [※]

令和9年度(目標年度)	
ごみ減量化の目標	ごみリサイクル化の目標
1人1日排出量	資源化率
923g [※]	23.0% [※]

源化率7・1[※]増加を図る計画となります。そのためには、「使い捨て型社会」を「循環型社会」に変えなければなりません。この計画においても一人一人が環境にやさしい循環型社会の構築を目指すものとされています。

ごみ処理の基本理念 5つの優先順位

ではどうやって循環型社会を目指すのか。循環型社会形成推進基本法で明確となったごみ処理の5つの優先順位①出てくるごみをできるだけ減らす（発生抑制）②ものを繰り返し長く使う（再使用）③繰り返し使えないものは資源としてリサイクルする（再生利用）④資源として使えないものは燃やしてその熱を利用する（熱回収）⑤どうしても捨てるしかないものは環境を汚さないようにきちんと処分する（適正処分）を基本として、天然資源の消費を抑制し、環境に与える負荷の低減を図るため、町民、事業者、行政が一体となって循環型社会の構築を目指します。

循環型社会の構築を目指します

本町は、令和4年度に長期的視点に立った一般廃棄物（ごみ）処理の基本方針となる一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の見直しを行いました。

本計画では、ごみ減量化実現のために令和9年度（目標年度）におけるごみ減量化・リサイクル化の目標値を定めており、令和3年度（基準年度）からは1人1日排出量181g[※]削減、資

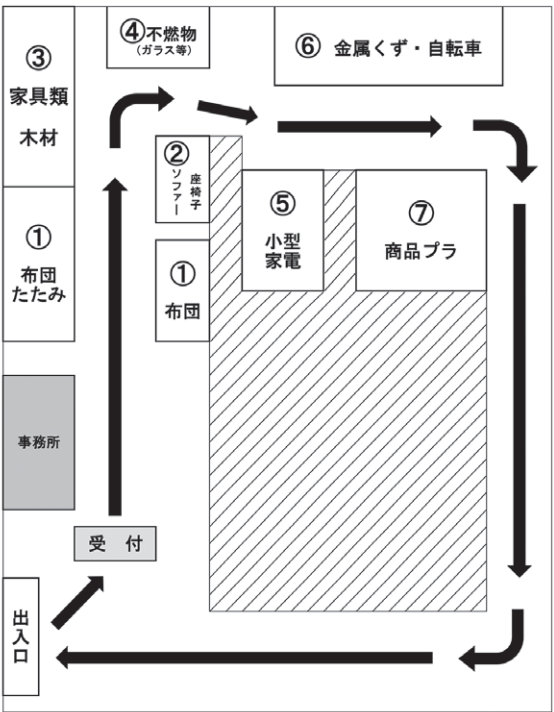
粗大ごみの出し方について

畳の持ち込みには事前予約が必要です。

令和5年度 粗大ごみ受け入れ日程一覧

4月9日(日)	午前9時～午前11時30分 午後1時～午後4時
5月1日(月)	午前9時～正午
5月2日(火)	午前9時～正午
6月1日(木)	午前9時～正午
6月2日(金)	午前9時～正午
7月2日(日)	午前9時～午前11時30分 午後1時～午後4時
8月4日(金)	午前9時～正午
8月5日(土)	午前9時～正午
9月6日(水)	午前9時～正午
9月7日(木)	午前9時～正午
10月1日(日)	午前9時～午前11時30分 午後1時～午後4時
11月1日(水)	午前9時～正午
11月2日(木)	午前9時～正午
11月25日(土)	午前9時～正午
12月～3月の粗大ごみの受け入れはありません	

粗大ごみ受け入れ順路



※粗大ごみの受け入れはこの順番で行いますので、ごみを車に積み込む時は、最後に下ろすごみから積み込むようにしてください。

循環型社会を実現するための3つの行動

循環型社会を実現するための暮らしの中の行動が「R」で始まる3つの行動です。一度に全部はできなくても、気づいたことから一つずつ、3Rを生活に取り入れていきましょう。

皆さんからいただいたごみの出し方への質問や粗大ごみに関すること、4月からのごみの出し方について紹介します。

ごみの出し方Q & A

Q：缶詰の缶やドリンクびんのキャップ等の出し方は？

A：缶の日に出してください。

Q：容器包装プラスチックは、洗わなければならないのか？

A：汚れがひどい容器は、軽くゆすいでから出してください。

Q：プラスチック製のボトルは、容器包装の日に出してよいのか？

A：プラマークのあるプラスチック製のボトルは、容器包装の日に出してください。プラマークのないプラスチック製のボトルは、商品プラの日に出してください。

Q：油のボトルは？

A：毎週木曜日の容器包装プラスチックの日に、中を軽くゆすいでから出して下さい。

ポイント！ 3R

①Reduce（リデュース＝発生抑制）

例：必要ないものは買わない、もらわない、買物にはマイバッグを持参する

②Reuse（リユース＝再使用）

例：詰め替え用の製品を選ぶ、いらなくなったものを譲り合う

③Recycle（リサイクル＝再生利用）

例：ごみを正しく分別する、ごみを再生して作られた製品を利用する

必ず本人が粗大ごみを持ち込んでください

粗大ごみとして受け入れができるのは、町指定の袋に入らない家庭のごみで、町が引き取りできるものです。

粗大ごみは、旧衛生センター（名家地区）へ各自持ち込んでください。上記受け入れ日程を確認の上、必ず時間内に受け付けを済ませてください。

受け入れる粗大ごみの量は、軽トラック一台分です。代理人のみの持ち込みは認めません。必ず本人も同乗してください。

また、4月から畳の持ち込みには事前予約が必要です。粗大ごみ受け入れ日の前日（日曜が受け入れ日の場合は、直前の金曜日）午後4時まで、町民生活課環境係へご連絡ください。

1回で持ち込むことができる畳は8枚までです。その日の受け入れ可能枚数（50枚）に達した場合には、次回の受け入れ日をお願いします。

粗大ごみの受け入れ日や詳細については、ごみリサイクルカレンダーをご覧ください。

●粗大ごみの無償譲渡について
粗大ごみの無償譲渡は、当面の間、中止します。

●ごみ分別説明会を開きます。
各地区の要望に応じて、ごみ分別の説明会を実施します。
詳しくは、町民生活課環境係へお問い合わせください。

70歳以上の高齢者世帯のごみ出し支援を行います

70歳以上の高齢者のみの世帯で、粗大ごみの日に自分で持ち込みができない場合は、自宅に引き取りに伺います。

▼申し込み受付時間
午前8時30分から午後5時まで（役場開庁日に限る）

▼申し込み方法
電話または町民生活課の窓口で申し込んでください。

▼回収日時
受付後、ご相談の上で決定します。

▼回収数量
1回の申し込みにつき、5品までとします。

▼回収方法
自宅玄関前で回収します。

※ご自身で玄関前まで出せない場合は、回収をお断わりします。

▼その他
乗用車等をお持ちで、自分で旧衛生センターまで持ち込める人は、回収をお断わりします。

【問い合わせ先】
町民生活課 環境係
☎（02）2114

「商品プラ」「小型家電」「金属くず」を出すときの注意点

- おもちゃなどの乾電池は、必ず外してから出す。
※乾電池は燃やせないごみ



- 泥が付着したもの、汚れのひどいものは、一度水洗いをしてから出す。



- プラスチック以外のものがついている時は、分解してから出す。
※キーホルダーなど



- CD、DVD、カセットテープの紙(歌詞カード・ジャケット等)は外して出す。※紙は古紙へ



別々に！



- リモコンや時計など、乾電池が入っているものは必ず外してから出す。
- 分別できるものは分別する。

(例1) 照明器具

本体 「小型家電」

傘(シェード) 「商品プラ」「燃やせるごみ」

電球・蛍光灯 「燃やせないごみ」



(例2) ミキサー

本体
「小型家電」

ふた
「商品プラ」

ガラス
「燃やせないごみ」



(例3) 炊飯器

本体
「小型家電」

釜
「金属くず」



- 刃物類(包丁・草刈機の刃等)は、危険なので新聞紙などに包んで出す。
- 次のものは燃やせないごみに出す。※金属くずには出さない。

針、くぎ、画びょう、ヘアピン、傘、鍋などのガラスの蓋、
かみそり、ライター



4月からごみの出し方が変わります

4月から「商品プラの日」「小型家電の日」「金属くずの日」をそれぞれ設けます。
「商品プラ」「小型家電」は今までどおり町指定のごみ袋か半透明のごみ袋に入れて出してください。
「金属くず」は袋には入れずに、ごみ収集場所に設置してあるコンテナへ、直接入れてください。
回収日や詳細については、ごみリサイクルカレンダーをご覧ください
※対象となるもの以外のごみが混ざっていた場合は、回収できませんのでご注意ください。



商品プラ

小型家電

金属くず



大きなものはコンテナには入れず、収集場所内に直置きでも構いません。



「商品プラ」「小型家電」「金属くず」に出せないごみ

これらは、「商品プラ」「小型家電」「金属くず」には出せません。きちんと分別し、燃やせないごみの日・びんの日などに出しましょう。



乾電池



びん類



電球・蛍光灯



かみそり・カッター



傘・鍋のガラス蓋



くぎ・画びょう・ライター

ごみはきちんと分別すれば「資源」となり、リサイクルによって新しい製品に生まれ変わります。また、ごみの減量化にもつながり、ごみ処理に係る経費削減も図られます。正しい分別にご協力ください。